

演題名	施設に入所されているご利用者及び職員の口腔ケアの質を上げる		
施設名	特別養護老人ホームケアポート板橋	発表者(職種)	相原 大路 (介護士)
活動の種類	質・安全・能率・CS・モラール・コスト	取り組み種別	問題解決型・課題達成型
改善しようとした問題 課題	ご利用者100名中約80名のご利用者に口腔ケアを行っているが、歯科診療時に磨き残しの指摘を受けていた。口腔内細菌は内科疾患との関連性があり、高齢者の健康と密接に関連していることから、歯科医の視点からきれいに磨けている評価を得られるよう口腔ケアの質向上を目指した		
改善の指標とその目標値	(指標) 歯科診療を受けたご利用者のうち、汚い・とても汚いと評価された方が合わせて72%いた(目標値) 12月末までに汚い・とても汚いと評価されるご利用者の割合を0%にする。		
実施した対策	①イラストマニュアルを作成し洗面台に貼る。②職員、利用者ともに歯科医師による勉強会の実施。③口腔ケア推進士の取得。④ケアの統一を測るためマニュアルの作成。⑤誰でも必要な物品が揃えられる様に、口腔ケアグッズの一覧表を作成。⑥歯科衛生士による口腔ケア指導を受ける等		
改善指標の対策実施前後の変化	(実施前) 歯科診療を受けたご利用者のうち、汚い・とても汚いと評価された方が合わせて72%いた (実施後) 汚いと評価された方は4%となった (目標達成率94%)		
チームの名称	BRUSH UP	リーダー一名(職種)	中村 恭久 (介護士)
		チームの人数	14 名
活動状況	平成 26 年 4月～ 12 月	平均会合時間	120 分
	会合回数	17 回	平均会合出席率

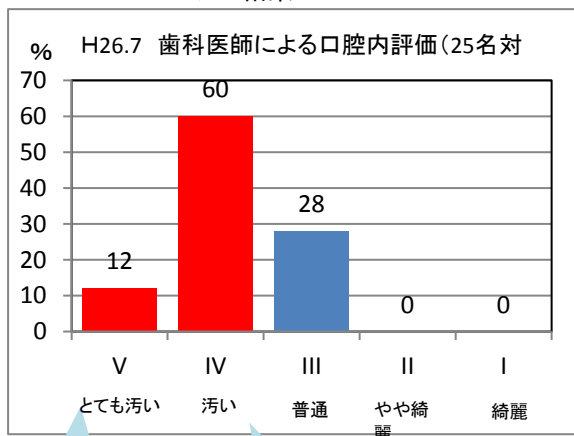
【現状把握】

口腔ケア評価表(図1)を用いて、
 歯科医師に口腔内の評価を依頼する
 ・調査対象者
 歯科診療を受けているご利用者全員
 (口腔内に問題がある方を対象とした為)
 ・評価頻度
 月1回、歯科受診時(週2回)のうち、いつ、誰を評価するか
 職員に知らせず、歯科医師が評価を行う

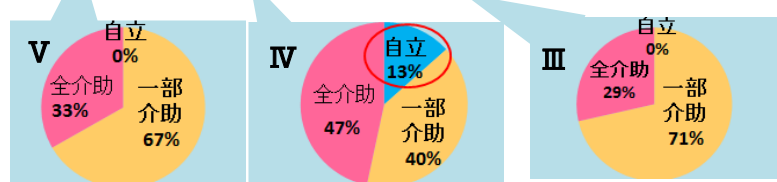
(図1)口腔ケア評価表(用紙は歯科医師と一緒に作成)

氏名 ○○		評価日 ○○		時間 ○○				
汚 れ の 原 因	汚れている部位						舌汚れ	
	歯の表面	歯の裏	上あご	口腔前庭	歯間	歯頸部		なし
	歯垢・食渣	✓	✓			✓	✓	少量 ✓
	痰汚れ							中程度
	歯石							多量
特記 根だけ残っている部位、窪みに汚れが多いです							IV	
I 綺麗・・肉眼所見で歯垢や食物残渣はなし								
II やや綺麗・・歯により歯垢の付着はあるが清掃良								
III 普通・・食物残渣は見られず、概ね清潔								
IV 汚い・・多くの歯に食物残渣がある								
V とても汚い・・口腔前庭部等にも食物残渣が多い								

結果



分かった事
 IV(汚い)・V(とても汚い)が合わせて72%いた



72%のうちわけを介助レベルごとに分析すると、自立のご利用者でも「汚い」と指摘をされる方13%いる事が分かった

【目標設定】 歯科医師による口腔内評価がIV(汚い)・V(とても汚い)であるご利用者の割合を平成26年12月までに72%から0%にする

